

『ふるさと能代の自然』発行



能代市環境教育副読本

「ふるさと能代の自然」は

B5版、本文50頁のカラー印刷で、次のように編集されています。

- 1、自然観察ポイント
- 2、白神山地 3、米代川
- 4、大地のつくり
- 5、動物 6、植物
- 7、環境
- 8、観察コース

写真を21枚、イラストを16枚、グラフを12枚使用している見やすい副読本です。

海・山・川の豊かな自然に囲まれた「ふるさと能代」を見直し、この素晴らしい環境を大切にしましょう。

次のような内容が載っています

水源付近のようす



米代川はどんな規模かな？

長さは約136kmあり、秋田県で一番長い川です。全国では27番目です。

水源は、岩手県安代町の中岳にあります。

1年間で約65億4720万㎡の水が流れています。

これは、東京ドームの約5000杯になります。

地面の下はどのようなになっているのかな？

地下のようすを調べていくと、うもれ木が見つかりました。この木がかれた年代を調べてみると、紀元前1190年ころであるということがわかりました。ですから、このうもれ木といっしょになっている砂や小石は、今からおよそ3000年前に川の上流から運ばれてきたものと考えられます。

層名	厚さ (m)
シルト	0.5
中くらいの砂 (緑石)	6
粗い砂	6
砂とれき (うもれ木)	6
細かい砂とシルト	5

(m)

能代市街地の地下のようす

オオハクチョウ



小友沼にはどんな渡り鳥がいるのかな？

小友沼は全国的に有名です。それは、マガン・ヒシクイなどのガンが、渡りの途中でよっていくからです。

秋から春にかけてガンのほかにハクチョウやカモ類もたくさん集まります。秋にはサギやシギ、チドリもやってきます。

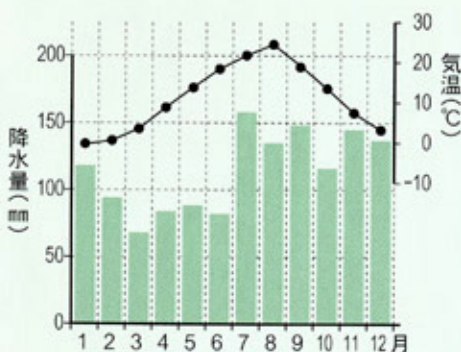
湿地にはどんな植物がさいているのかな？

湿地には、ノハナショウブ、ヌマトラノオ、ミソハギの他に食虫植物のモウセンゴケやランのなかまのトキソウがさいているところもあります。山の沢の湿地にはミズバショウやエゾリュウキンカがさいています。



トキソウ

能代の気温と降水量
(昭和61年と平成7年の平均)



能代の気候はどんなかな？

夏に、わりあい高温です。冬の気温も緯度の高いわりには下がりにません。

冬は北西方向から風がふくことが多く、内陸部に雪を運んでしまいます。降雪量は年々少なくなってきています。

春から夏にかけては、天気の良い日が多く、適度の雨も降るので、稲作をはじめとした農業や、米代川流域の杉などの森林を育てるのに適しています。

問合せ 環境課 内線332

能代の自然を正しく理解し、楽しく勉強できるようにまとめたものです。小学校四年生から中学校三年生までを対象とし、学校のほか親子でも能代の自然を探索し学習できる内容になっています。中学校三年生には卒業前に配布し、小学校四年生から中学校三年生までと小中学校の教諭には年度明けに配布する予定です。ご活用ください。